

別冊第十

南洋地圖開設兵站病院、接収管理ニ關スル
中國軍備志錄

0520

第九獸医兵站總部快郵代電

明治三十四年十一月四日

南洋地圖日本官兵善後運輸部長

笠原幸雄將軍

(一) 貴区第一七七及八七兵站病院、軍政部、命ニヨリ本總部

が接收管理ス

該二本部衛生處長馬詠琛、軍政部派遺、監交委員及第一集團軍總司令部軍醫處處長ト立會日下ニ

近日中兩病院ニ到リ接收ス

(二) 兩病院從來、作業、雜務ニ關シテハ兩病院長ラニテ

病院接收後ニ爲處長ト協議上適當之處理セシムベシ

(三) 第七兵站病院、概況詳細ヲ列記セん報告書ヲ本

部送達シ以テ参考供スベシ

以上三項ヲ其通り處置已至度

0521

第九戰區蘇聯總監部第二指揮所副官
十月八日工光

徐建德
葛思德
遊

0522

第九戰區兵站總監部快郵代電

民國三十四年十月
軍委會第十九號

南寧地過日本官兵善後運務部長

笠原幸雄將軍

貴過「11」及「89」兵站病院ハ軍政部ヨリ人員ヲ派遣接収シ本
部衛生處ニ移交管理ハシテ該病院一收容日本傷病
官兵ニ便利ナシメントンガ為原、有狀況ヲ保留シ治療ヲ繼
續セシム其規定ヲ次、如ク定ム

(一) 連藥物ハ該病院長責任ヲ以テ保管スベレ

(二) 藥醫療器械及服裝家具ハ、病院ニ貯蔵使用セシムヲ以テ
兩院長ヨリ借用証ヲ提出スベシ。借用期間中、兩院長ハ
保管完全整理、責シ商フシ

(三) 衛生藥利消耗品ハ、兩院ニ支給し使用セシムを、兩院長
ハ、後領證ヲ提出スルト共ニ、毎月消耗量表ヲ以テ報告
シ、該兩院、治療工作終了後ハ、統計、材量ヲ列表シ

0523

以テ返納スベレ

(四) 該雨院現存薬品ハ豊富ナラズ且補充困難ナリ
依而出來得ル限り新患者收容ヲ避ムシ

五 該雨院ハ職員、詳細履歴表一部ヲ作成シ本部

送附調査ニ備エシ

以上五項「17」「8」雨院長ニ遵守并轉令アリ度

第九師團兵站總監部九江指揮所副監

徐建德
革兵遊

十月三日衛光

0524

第九號通兵站總監部 恒勤代覽

民國三四年十一月一日
軍機字第一四三号

南溝通日本官兵善後連絡部長

笠原卓雄將軍

總監陳士吉附送1430配代電

大如レ

九江日本軍第一七七八兩兵站病院、上座置想則就于八既

ニ長官薛ヨリナシタノ如ク合併想則ヲ次キセラタリ

(一)九江日本軍第一七七八兵站病院ハ暫時保留シ九江兵站醫院

ト改稱ストリートス

(二)九江日本軍第八七兵站病院ハ運送開鎖シ病院殘留
ノ傷病兵ハ第一七七病院ニ合併收容上治療シ現有、餘
剩藥物ハ第毛病院ニ移交、上使用スルモトス同院ハ
被服裝具医療器械ハ本部ニ接收入

依而連ガニ軍政部第一派遣組立合、上遵守處理

セヨ度

依而右表紙上名當該兵站連隊ヨリテ連參セムハレ

0525

第九戰區兵站總部醫務學院紅指揮所副官

吉月十三日正光印

徐連德

0526

南溝連第四八六號

小池口附近ニ患者收療機関二部ヲ存續セシメニ度
件申請

中華民國三十四年十一月十四日

南溝地區日本官兵善後連絡部長

笠原幸雄

第九戰区兵站醫院九三指揮所副監

徐建德將軍閣下

首題件民國三十四年十一月七日尋指字第^一四三三號ニ基ク
第一百七十七第八七兵站病院一處置観則ハ當該兩兵站病院
ラシテ連絡セシムヘキモ九三對岸地區三八軍直屬諸部隊
及ニ^レ兵团ラ集結セシメアルヲ以テ之等兵团部隊ヨリ發生
ノ傷病兵ニ對^スん收療機関一存置リ絶對^ス必要トシ特
ニ救急處置ヲ要^ス傷病兵、發生^ス隨處セバ之が存置
之意義極メテ重大ナルヲ以テ交通一便ヲ考慮、上理ニ第

0527

八十七兵站病院、開設にて位置ニテ自下使用ヲ許可セラレ
乃施設被服裝具醫療器械等ヲ現狀ノ儘利用シ
第百七十兵站病院一部、患者療養所ヲシテ業務移行
継承致度ヤ行狀許可相成度申請ス

尙第八十七兵站病院ハ既ニ報告セシ如ク長期ニ亘リ作業
參加ニ在シアリシト逐次其一部が患者ヲ護送シテ
上海南京地区ニ下航セシメ其裝備ハ著シテ低下シ
患者療養所程度、機能ヲ若干山ニテ保有ニアル實情
ナリ以テ將來ニ於テモ所要、裝備、第百七十兵站
病院收容中、傷病兵、纏少ニ其、負擔輕減ニ伴
ヒテ遂次其、余力ヲ以テ第八十七兵站病院、裝備ヲ
補填シ得ヘ如ク申請方考慮中ナル付申述
(3)

中華民國第九戰區陸軍第九軍司令部備志錄
南寧地區日本官兵善後聯絡部長
笠原幸雄將軍

長官諱三月九日附訪衛南強琛序第5374號代電左、如
茲三南寧地區日本官兵患者收容辦法左、如、粗定ス

一九三一年(1931)兵站病院ハ九三兵站連陞ト改稱シ事ヲ日本
聯兵、診療及收容、壹リ擔任ルト共ニ其現狀ヲ保留
シ現有、衛生人員ヲ以テ工作ヲ繼續スルし入院患者ノ移動
ヲ待早後速力ニ仕替フ然了スベシ

二 小池口ニ駐スル(1931)兵站病院ハ連カニ閉鎖シ入院中、患者ハ全
テ九三兵站連院ニ移交收容スベシ

該院ノ現有綱目药品ハ全部九三兵站連院ニ移交
使用スベシ 其余、医療器械被服裝具等一切、該

備ハ本区矣然總監部衛生處ヲ取締メ接収ス
矣該總監部ニ蓮審スベシ分覽シアルモ右蓮審スベシト
而連カニ蓮審スベシト

0530

第九戰區支那總醫部快報代電

民國三十五年一月
軍機字第0075號

南屏地區日本官兵善後運輸部長

笠原幸雄將軍

總監陳士昌電附南強琛字第5641號代電底，如

(一)日本軍⁽⁸⁾兵站病院、命通、開鐵設

口九紅兵站連院⁽⁹⁾、池口⁽¹⁰⁾、診療所⁽¹¹⁾設置、該地日本軍
患病者、救急空運⁽¹²⁾便利⁽¹³⁾之件、⁽¹⁴⁾許可⁽¹⁵⁾

(同)日本軍⁽⁸⁾兵站病院所有、醫療器械及被服器皿
等一切設備⁽¹⁶⁾先⁽¹⁷⁾撥收⁽¹⁸⁾、⁽¹⁹⁾再入調查⁽²⁰⁾備⁽²¹⁾、
上海⁽²²⁾九紅兵站連院⁽²³⁾池口⁽¹⁰⁾診療所⁽¹¹⁾供給⁽²⁴⁾使用⁽²⁵⁾
以下

依而調查⁽²⁶⁾元⁽²⁷⁾共⁽²⁸⁾二轉命⁽²⁹⁾之⁽³⁰⁾並⁽³¹⁾之⁽³²⁾

第九戰區兵站總醫部九紅兵站連院副官 徐建德
一月七日 謹 先

第九戰區兵站總部快郵代電

民國三十五年八月十日
總指揮官第ニ三〇號

南潯地區日本官兵善後運輸部長

空軍軍械將軍

後方勤務總司令部東南第九後方醫藥局一日八時附

南諸書字第廿九七號代電在如

總監陳南強珠字第四五四號七月九日一三九三萬枚

代電三件

一九三四年第八兵站病院ハ既ニ集結リ命シテ

該院、物資、周シテ、速カニ保育ヲ派遣シ機收止

南昌三連送レ報告スベシ

九江指揮所ニ令電シ承知セシナルモ遵守スルト共ニ

機收管理情況之報告スベシ

為ニ命ヨリ本院ニ算正匪賊長王越ナ派遣シ機收上

南昌ニ運搬セシキ事

右電請ノルヲ以テ 調査上 指示ヲ賜ヒ以テ 一切ヲ順調
ニ進行セシタリ 利セシムラシ度ト
依而承認シタルト共ニ 轉命ニ遵守處理セシマラシ度

0533

署官兵善後連絡部長笠原幸雄より傳へラシ度

本局四月三日附2119号衡強代電、以テ九江兵站運院
对于シ歸國前之陸路用銀元際ハ借用、所生物資
同銀ヲ作製シ本局第31供應部移文接收セシム
ヘク轉令元件ハ右之通り並手スベノ督令シ歸國前之第
三工供應部ニ轉交接收セシムト共ニ接收目錄一部
豫メ本局ニ報告セラシ度

南昌江西供應局長

五月十六日
2166

衡強
陳常機

0534